

2022/1/13 新春座談会

医療制度改革の今後 ～コロナ対応の反省を踏まえ、どう見直すのか～

全日本病院協会 猪口雄二（医財）寿康会

1

新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況の調査 （2020年度第4四半期） －〔概要版〕－



一般社団法人 日本病院会



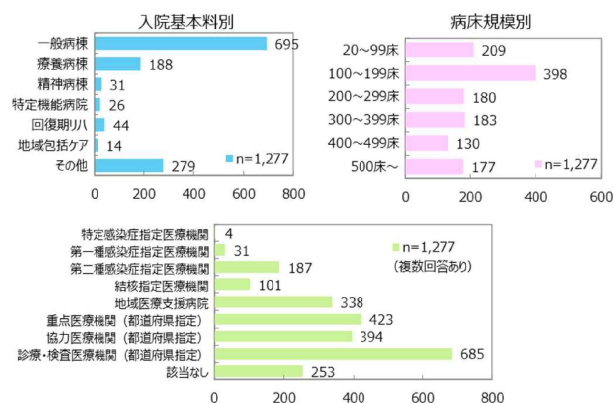
公益社団法人 全日本病院協会



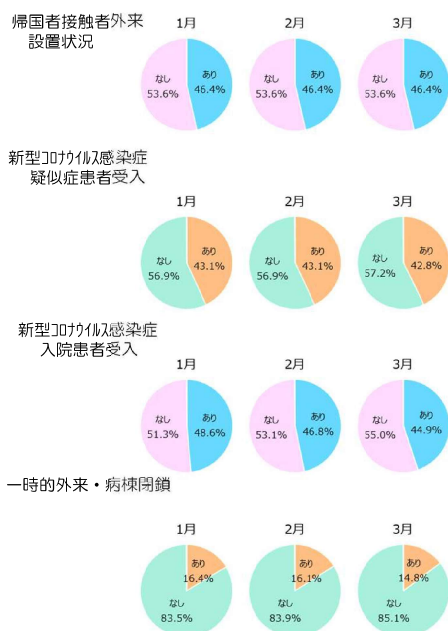
一般社団法人 日本医療法人協会

2

■調査対象数：4,410病院
 ■回答病院数：1,282病院
 ■有効回答数：1,277病院
 (有効回答率29.0%)



新型コロナウイルス感染症への対応状況

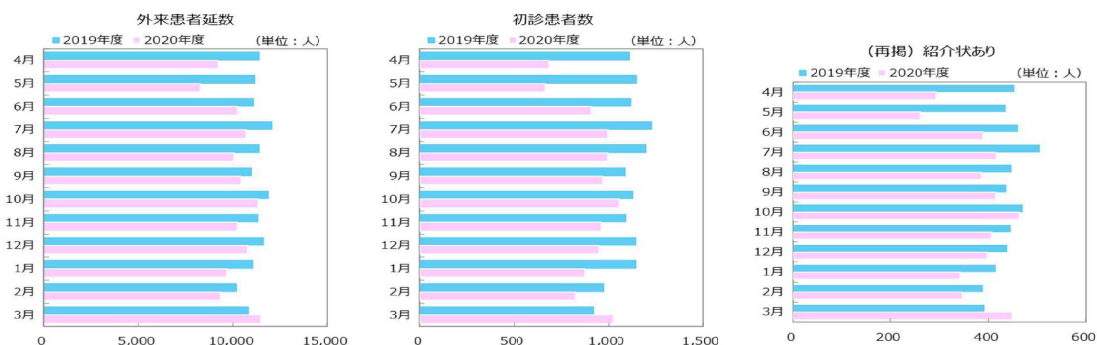


外来患者統計

n=756

(単位: 平均人数)	2019年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来患者延数	11,409	11,182	11,115	12,069	11,429	11,002	11,899	11,346	11,655	11,060	10,211	10,839
初診患者数	1,119	1,156	1,125	1,235	1,204	1,095	1,138	1,100	1,151	1,151	978	922
(再掲) 紹介状あり	453	436	461	507	448	437	471	445	438	415	390	393

(単位: 平均人数)	2020年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来患者延数	9,209	8,279	10,259	10,698	10,074	10,449	11,330	10,240	10,796	9,709	9,354	11,500
初診患者数	688	668	908	993	993	968	1,061	962	950	875	825	1,023
(再掲) 紹介状あり	294	263	389	417	387	415	464	406	398	343	348	449



■入院患者統計

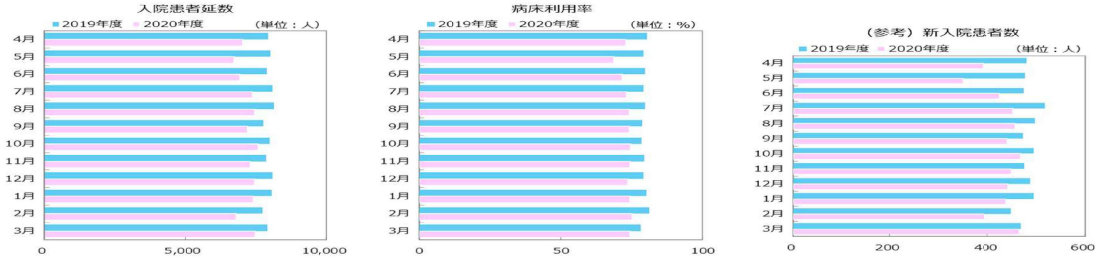
n=756

※数値は平均値	2019年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
在院患者延数(人)	7,441	7,552	7,392	7,594	7,619	7,289	7,501	7,372	7,558	7,605	7,270	7,423
新入院患者数(人)	481	477	475	517	498	473	495	477	488	494	449	469
退院患者数(人)	489	465	483	501	512	463	488	486	528	443	468	476
入院患者延数(人)※1	7,930	8,017	7,875	8,095	8,131	7,752	7,989	7,858	8,086	8,048	7,738	7,900
病床利用率(%)※2	80.5	79.3	79.8	79.3	79.9	78.9	78.5	79.6	79.3	80.2	81.4	78.2

※数値は平均値	2020年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
在院患者延数(人)	6,624	6,376	6,519	6,927	7,010	6,782	7,101	6,887	6,978	7,018	6,403	7,026
新入院患者数(人)	390	349	426	453	457	441	469	449	442	438	393	466
退院患者数(人)	413	358	410	447	455	436	480	435	488	401	399	463
入院患者延数(人)※1	7,037	6,734	6,929	7,374	7,465	7,218	7,581	7,322	7,466	7,419	6,802	7,488
病床利用率(%)※2	73.0	68.8	71.7	73.3	74.2	74.3	74.7	74.7	73.8	74.6	75.3	74.5

※1：在院患者延数+退院患者数

※2：在院患者延数÷(月間日数×許可病床数_合計)×100



5

■2020年度の経営指標

(単位: 千円) ※数値は平均値	平均病床数: 308			n=716 平均病床数: 168			n=264 平均病床数: 390			n=452 平均病床数: 385			n=272		
	2019年度	2020年度	前年度比	2019年度	2020年度	前年度比	2019年度	2020年度	前年度比	2019年度	2020年度	前年度比	2019年度	2020年度	前年度比
医療収益	8,023,737	7,680,540	-4.3%	2,699,608	2,647,373	-1.9%	11,133,406	10,620,266	-4.6%	11,016,358	10,368,469	-5.9%	7,191,255	6,730,859	-6.4%
入院診療収入	5,294,651	5,058,963	-4.5%	1,912,068	1,889,924	-1.2%	7,270,319	6,909,906	-5.0%	7,191,255	6,730,859	-6.4%	3,281,072	3,161,851	-3.6%
外来診療収入	2,327,202	2,258,299	-3.0%	617,618	594,883	-3.7%	3,325,720	3,229,852	-2.9%	3,281,072	3,161,851	-3.6%	207,923	175,093	-15.8%
健診・人間ドック等収入	153,243	133,984	-12.6%	64,262	60,225	-6.3%	205,214	177,064	-13.7%	207,923	175,093	-15.8%	336,108	300,666	-10.5%
室料差額・その他医療収入	248,642	229,294	-7.8%	105,660	102,342	-3.1%	332,153	303,444	-8.6%	336,108	300,666	-10.5%	11,273,419	11,236,895	-0.3%
医療費用	8,171,562	8,149,491	-0.3%	2,660,016	2,645,959	-0.5%	11,390,695	11,363,943	-0.2%	11,273,419	11,236,895	-0.3%	1,974,886	1,917,483	-2.9%
医薬品費	1,357,781	1,327,249	-2.2%	279,599	268,545	-4.0%	1,987,516	1,945,607	-2.1%	1,974,886	1,917,483	-2.9%	1,226,096	1,175,636	-4.1%
診療材料費	861,600	831,401	-3.5%	193,578	196,225	1.4%	1,251,773	1,202,389	-3.9%	1,226,096	1,175,636	-4.1%	5,537,891	5,585,228	0.9%
給与費	4,056,899	4,086,486	0.7%	1,522,226	1,529,580	0.5%	5,537,328	5,579,900	0.8%	5,537,891	5,585,228	0.9%	2,534,545	2,558,548	0.9%
その他経費	1,895,281	1,904,356	0.5%	664,614	651,610	-2.0%	2,614,078	2,636,049	0.8%	2,534,545	2,558,548	0.9%	-257,061	-868,427	-8.4%
医療利益	-147,824	-468,951		39,592	1,414		-257,289	-743,677		-257,061	-868,427				
医療利益率	-1.8%	-6.1%		1.5%	0.1%		-2.3%	-7.0%		-2.3%	-8.4%				

医療利益の推移 (2019年度と2020年度の%の差)



6

■2020年度の経営指標

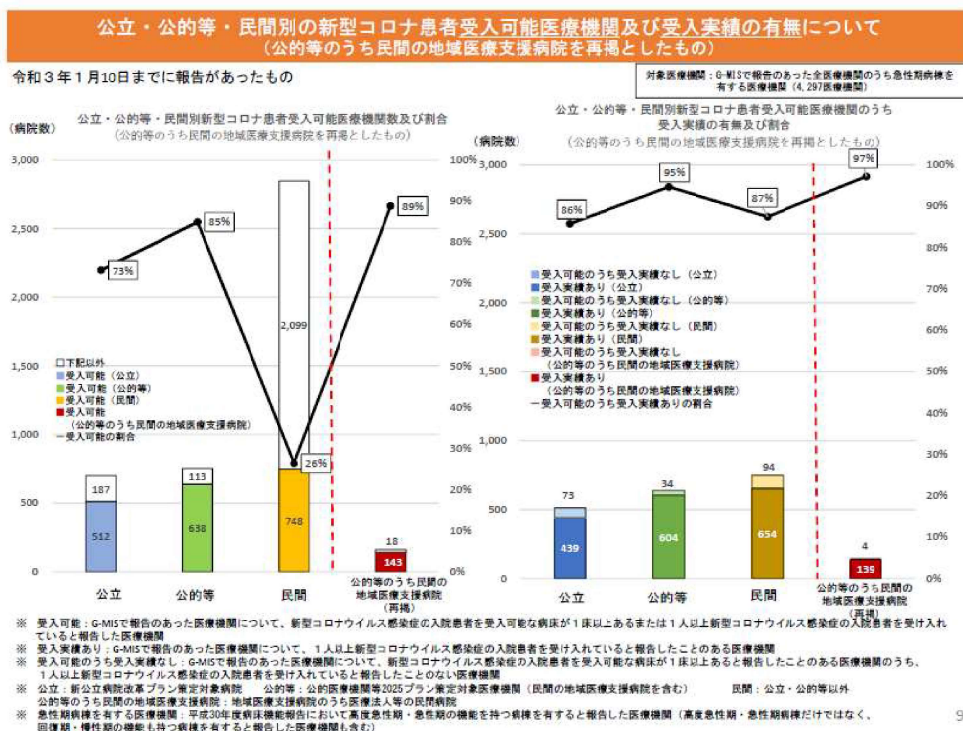
	平均病床数：308			n=716 平均病床数：168			n=264 平均病床数：390			n=452 平均病床数：385			n=272		
(単位：千円)	全病院			コロナ患者受入 なし			コロナ患者受入 あり			一時的・外来病棟閉鎖					
※数値は平均値	2019年度	2020年度	前年度比	2019年度	2020年度	前年度比	2019年度	2020年度	前年度比	2019年度	2020年度	前年度比	2019年度	2020年度	前年度比
医療収益	8,023,737	7,680,540	-4.3%	2,699,608	2,647,373	-1.9%	11,133,406	10,620,266	-4.6%	11,016,358	10,368,469	-5.9%	11,016,358	10,368,469	-5.9%
入院診療収入	5,294,651	5,058,963	-4.5%	1,912,068	1,889,924	-1.2%	7,270,319	6,909,906	-5.0%	7,191,255	6,730,859	-6.4%	7,191,255	6,730,859	-6.4%
外来診療収入	2,327,202	2,258,299	-3.0%	617,618	594,883	-3.7%	3,325,720	3,229,852	-2.9%	3,281,072	3,161,851	-3.6%	3,281,072	3,161,851	-3.6%
健診・人間ドック等収入	153,243	133,984	-12.6%	64,262	60,225	-6.3%	205,214	177,064	-13.7%	207,923	175,093	-15.8%	207,923	175,093	-15.8%
室料差額・その他医療収入	248,642	229,294	-7.8%	105,660	102,342	-3.1%	332,153	303,444	-8.6%	336,108	300,666	-10.5%	336,108	300,666	-10.5%
医療費用	8,171,562	8,149,491	-0.3%	2,660,016	2,645,959	-0.5%	11,390,695	11,363,943	-0.2%	11,273,419	11,236,895	-0.3%	11,273,419	11,236,895	-0.3%
医薬品費	1,357,781	1,327,249	-2.2%	279,599	268,545	-4.0%	1,987,516	1,945,607	-2.1%	1,974,886	1,917,483	-2.9%	1,974,886	1,917,483	-2.9%
診療材料費	861,600	831,401	-3.5%	193,578	196,225	1.4%	1,251,773	1,202,389	-3.9%	1,226,096	1,175,636	-4.1%	1,226,096	1,175,636	-4.1%
給与費	4,056,899	4,086,486	0.7%	1,522,226	1,529,580	0.5%	5,537,328	5,579,909	0.8%	5,537,891	5,585,228	0.9%	5,537,891	5,585,228	0.9%
その他経費	1,895,281	1,904,356	0.5%	664,614	651,610	-2.0%	2,614,078	2,636,049	0.8%	2,534,545	2,558,548	0.9%	2,534,545	2,558,548	0.9%
医療利益	-147,824	-468,951		39,592	1,414		-257,289	-743,677		-257,061	-868,427		-257,061	-868,427	
①慰労金を除く支援金(※1)		489,375			30,517			757,380			865,643			865,643	
医療収益+①-医療費用		20,424			31,931			13,703			-2,784			-2,784	

※1 入金額 都道府県独自の支援金(慰労金を除く)含む

入金された支援金を加味した医療利益の推移(2019年度と2020年度の%の差)



7

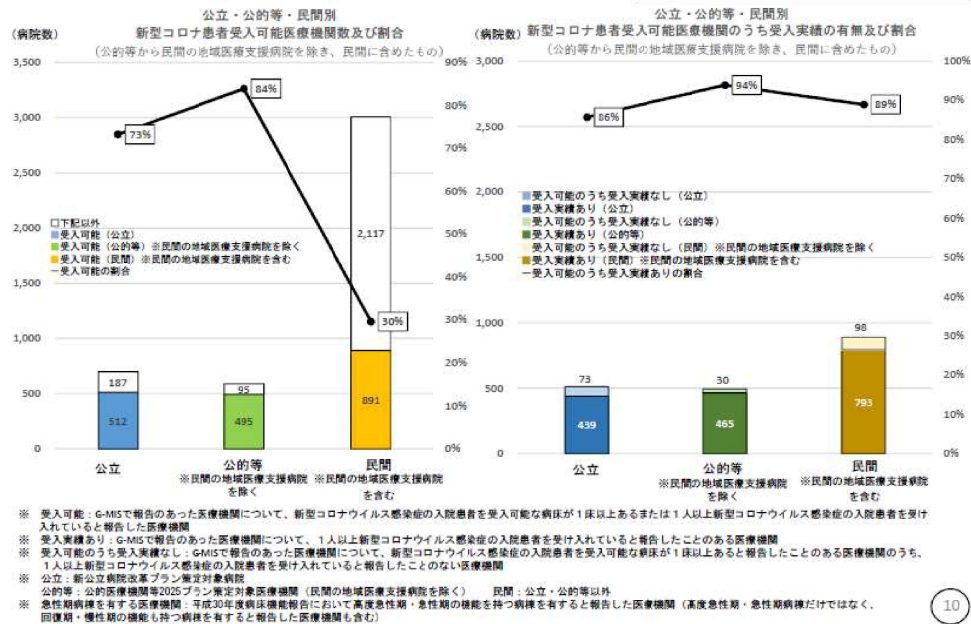


8

公立・公的等・民間別の新型コロナ患者受入可能医療機関及び受入実績の有無について
(公的等から民間の地域医療支援病院を除き、民間に含めたもの)

令和3年1月10日までに報告があったもの

対象医療機関：G-MISで報告のあった全医療機関のうち急性期病棟を有する医療機関（4,287医療機関）



新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況の調査 (2021年度上半期)



一般社団法人 日本病院会



公益社団法人 全日本病院協会



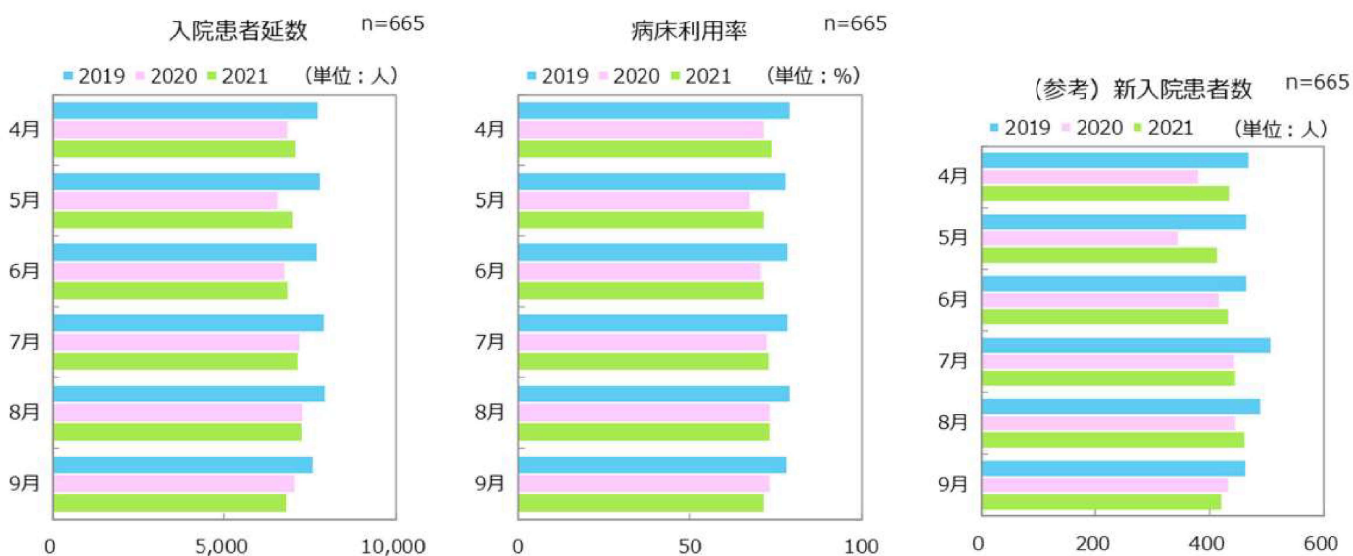
一般社団法人 日本医療法人協会

■外来患者統計



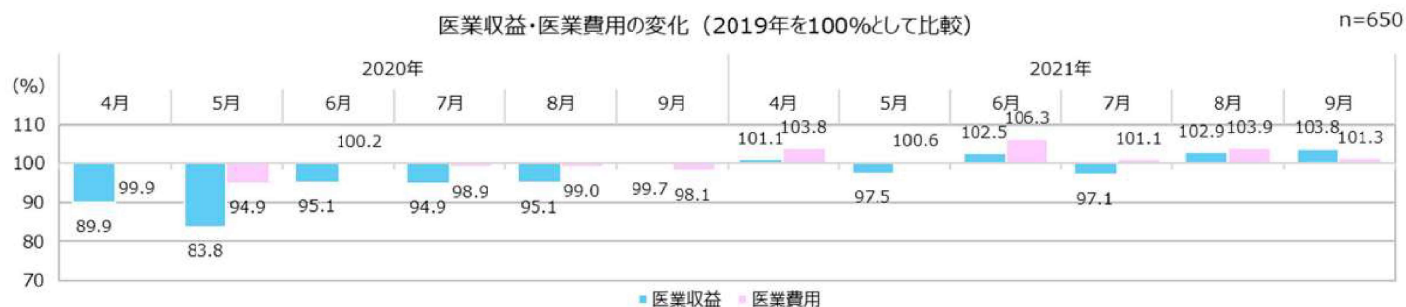
11

■入院患者統計



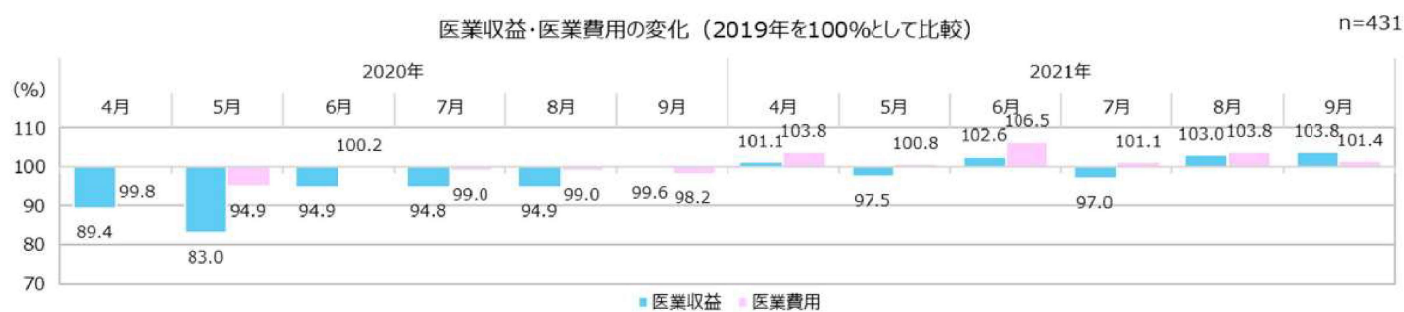
12

■コロナ患者受入状況における経営指標の比較（有効回答全病院）



13

■コロナ患者受入状況における経営指標の比較（コロナ患者受入あり）



14

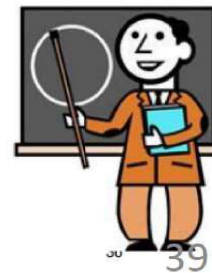
地域一般病棟の概念

→ 生活圏もしくは、一次医療圏が前提

- **役割**
- 地域ケアを中軸としたトータル・ケアサービス
- 在宅ケアを中心に、利用者の状態を考慮した医療の提供
- 基軸は地域における医療機関・介護施設とのネットワーク
- **機能**
- リハビリテーション機能、ケアマネジメント機能が必須
- 急性期病棟からの受け入れ
- 在宅医療の後方支援機能
- 24時間体制での対応
- **必要と考えられる人員基準**
- 医師、看護要員は現行の一般病棟基準以上
- PT、OT、ST等リハビリテーションスタッフを配置
- 医療ソーシャルワーカー(MSW)を配置
- **入院対応疾患**
- 軽～中等度の肺炎、脳梗塞等、内科疾患
- 一般的な骨折等、外科疾患
- 慢性疾患の急性増悪

地域一般病棟の誕生

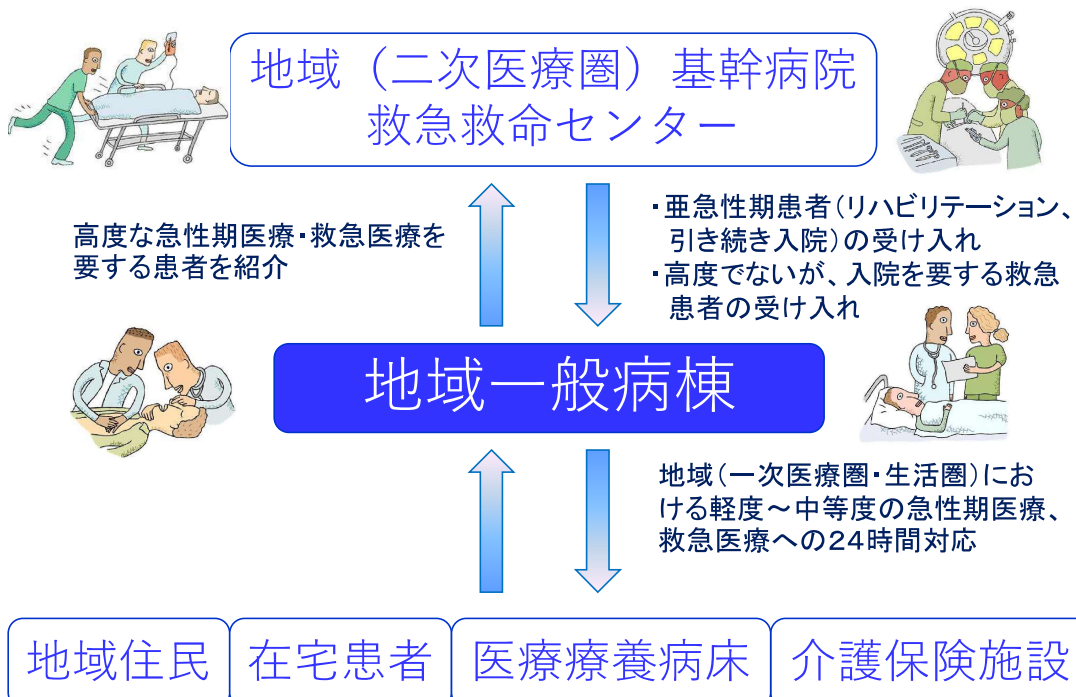
2001年の「高齢者医療制度改革」の議論では、保険制度・財源論が主体となっていたことに対し、**四病院団体協議会の高齢者医療制度・医療保険制度検討委員会**が提唱した概念



15

36

地域一般病棟の医療連携



16

なぜ、病院総合医が必要か？

- 超高齢社会では、認知症を含む多疾患を持つ高齢患者が増加する。
- 専門医制度において「総合診療専門医」が新たな専門領域として始まった。しかし、広い地域において活躍するのは、まだまだ時間を要する。
- 多くの医療機関で、専門性を有した医師がその専門領域以外の場面で活動しなければならない機会が増加している。
- 医師需要の偏在解消には、総合医の育成が必要不可欠である。

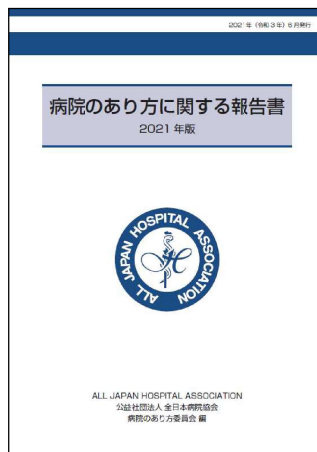
17

全日病の考える総合医プログラム

- 総合診療専門医のもつコンピテンシーを理解・共有する。
- 職場において専門医と協働できる環境の醸成を主な目的とする。
- 診療の場面で一歩踏み出す能力を身につけることを目標とした「診療実践コース」
- 多職種連携に必要なリーダーシップやチームビルディング、人材育成について学ぶ「ノンテクニカルスキルコース」
- 日本の医療制度、医療をめぐる現状や未来について全体像を俯瞰する能力を身に着けるための「医療運営コース」

18

病院のあり方に関する報告書 2021年版 概要



第3章 2040年における 理想的な医療介護提供体制

全日本病院協会「病院のあり方委員会」
徳田 禎久

19

1. 医療・都道府県主導の地域包括ヘルスケアシステム

医療介護提供に関する行政管轄区分

医療—都道府県／2次医療圏単位 — 「地域医療構想」

介護—市町村単位 — 「地域包括ケアシステム」

⇒ 整合性や連携についての議論に欠け、理想的な医療介護提供体制構築困難

「全日病の提言」

現在の2次医療圏は日常生活圏と乖離

— 地域の主要医療機関を中心にアクセス状況を踏まえ提供体制を考えるべし

— 人口推移／高齢化率 + 地域の産業構造など

— 一定の生活圏で地域特性に合致した医療・介護・高齢者の住まい・生活支援等を一体的に検討する「地域包括ヘルスケアシステム」として再構築

⇒ 医療保険・介護保険の同時利用や報酬改定時期の統一が必要
医療介護関連の政府調査の実施時期の統一が必要

20

病棟機能から病院機能へ

コロナ対応
病棟機能報告
病院機能報告
医療圏

(重症者) → 高度急性期 → (高度急性期病院) → 3次医療圏
 特定機能病院
 基幹病院
 高度急性期
 急性期

(中等症・軽症者) → 急性期 → (急性期病院) → 2次医療圏
急性期病院 急性期
ケアミックス病院 急性期・回復期

(後方支援・外来) → 回復期 → (地域密着病院) → 市区町村
地域包括ケア病院 軽度急性期
回復期リハ病院 回復期

プロフィール

猪口 雄二

【現職】 公益社団法人全日本病院協会 会長
医療法人財団寿康会 理事長

【経歴】

昭和 54 年 3 月 獨協医科大学卒業
昭和 54 年 12 月 獨協医科大学病院リハビリテーション科
昭和 62 年 6 月 医療法人財団寿康会 理事長
同年 寿康会病院 院長（～平成 17 年 5 月、平成 27 年 10 月再任）
平成 28 年 6 月 獨協医科大学 特任教授

【役職】

平成 10 年 4 月 江東区医師会理事（～平成 20 年 3 月）
平成 11 年 4 月 東京都病院協会常任理事（現）
同年 全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会委員長（現）
平成 12 年 10 月 四病院団体協議会 医療保険・診療報酬委員会委員長（現）
平成 15 年 4 月 全日本病院協会常任理事（～平成 19 年 3 月）
平成 15 年 8 月 厚生労働省保険局 保険医療専門審査員（～平成 25 年 8 月）
平成 19 年 4 月 全日本病院協会 副会長（平成 29 年 6 月）
平成 20 年 4 月 日本病院団体協議会 診療報酬実務者会議委員長（～平成 27 年 9 月）
平成 22 年 10 月 厚生労働省保険局 レセプト情報等の提供に関する有識者会議構成員
（～平成 29 年 7 月）
平成 27 年 4 月 地域包括ケア病棟協会 副会長（現）
平成 27 年 10 月 厚生労働省保険局 中央社会保険医療協議会委員（現）
平成 29 年 6 月 全日本病院協会 会長（現）
平成 29 年 7 月 厚生労働省医政局 社会保障審議会医療部会委員（現）
令和 2 年 6 月 日本医師会副会長